

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-12号)

平成30年8月30日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年8月28日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

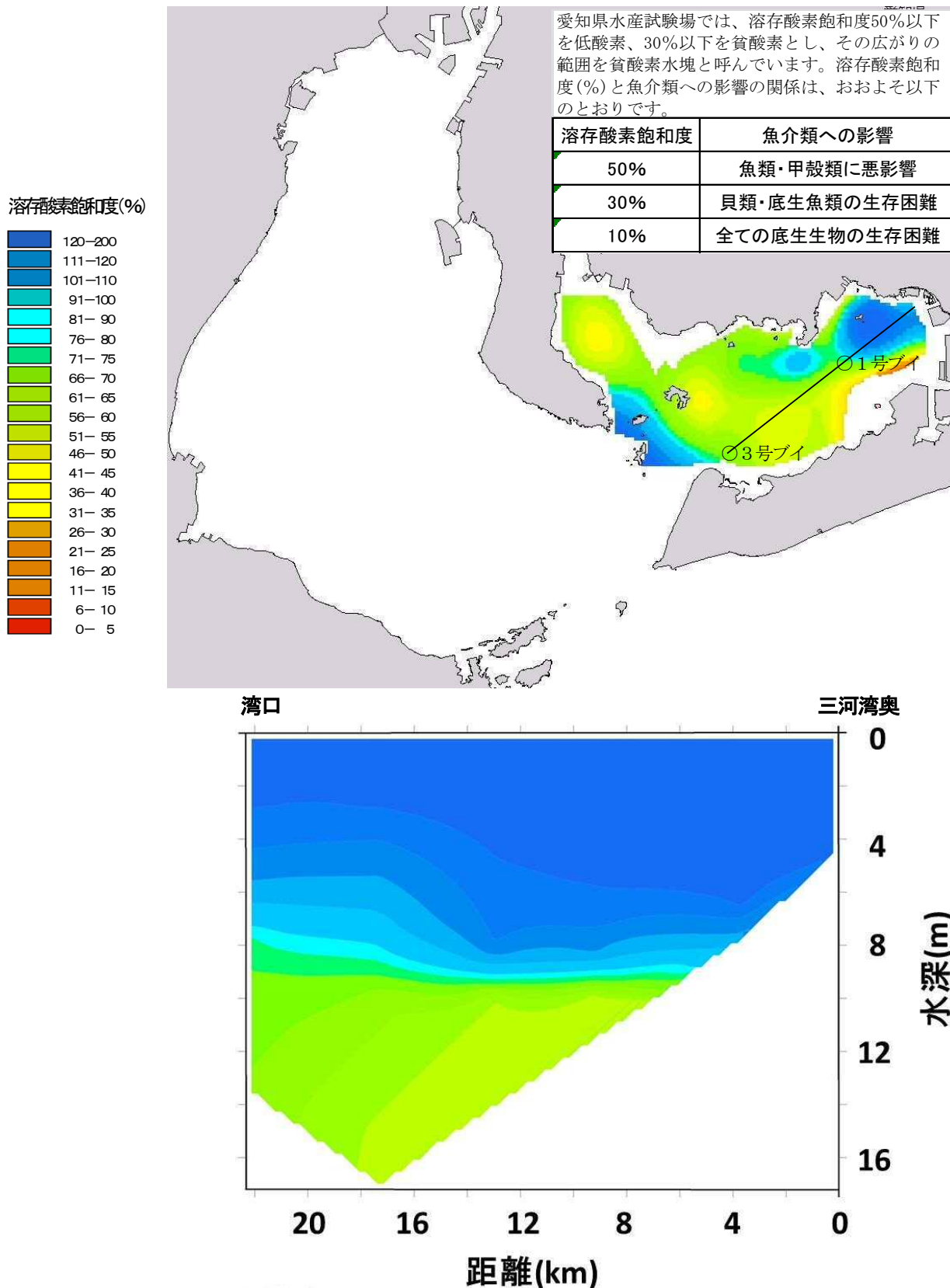


図1 三河湾(8月28日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

8月28日の調査結果を図1に示しました。前回調査（8月9日）で確認された貧酸素水塊は解消していました。

風向風速は三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ（福江湾沖）のデータを（同1号ブイ（蒲郡沖）の風向風速計はメンテナンス中）、溶存酸素飽和度は1号ブイのデータをみました。8月20日から22日にかけて風速4.1～11.2m/s（平均7.7m/s）の南南東から東南東の風が断続的に吹いた影響と、23日から24日にかけて接近した台風第20号の影響により海水の上下混合が起きて、貧酸素水塊が解消した様子が観測されました（図2）。また、21日の強風の影響により、汐川干潟沖の航路・泊地及び六条潟周辺で苦潮の発生が確認されました。

今後は、台風第21号の影響により貧酸素水塊の発生は抑制されると予測されますが、その後は再度、貧酸素化が進行すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	28.6～30.9	20.5～30.5
底層	25.8～28.6	29.7～32.8

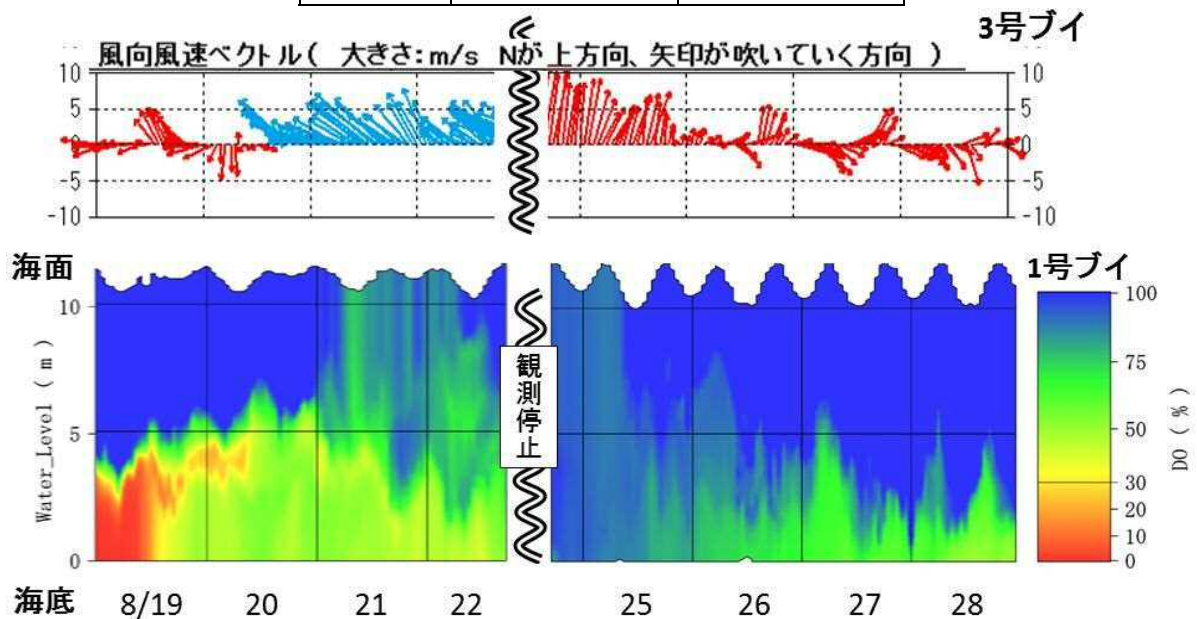


図2 風向風速の経時変化（上図）（三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

### 参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

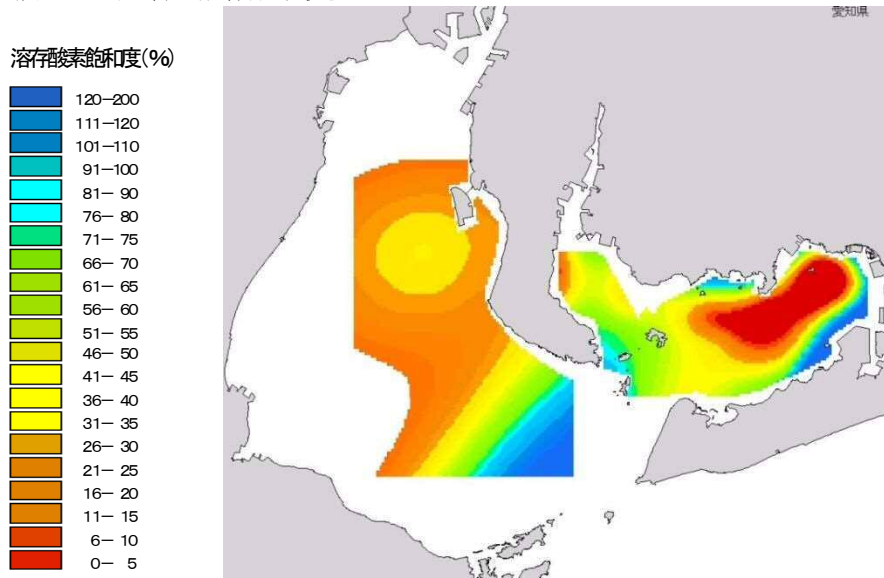


図3 平成30年8月16、17日（伊勢湾）、8月9日（三河湾）